

2013年6月議会特集

6月定例議会は、6月3日から6月20日まで開かれ、市長提案の23議案、請願1件、議員提案の意見書8件について審議しました。日本共産党甲賀市議団は、市政の問題点を追及、市民の要求実現へ積極的に発言しました。

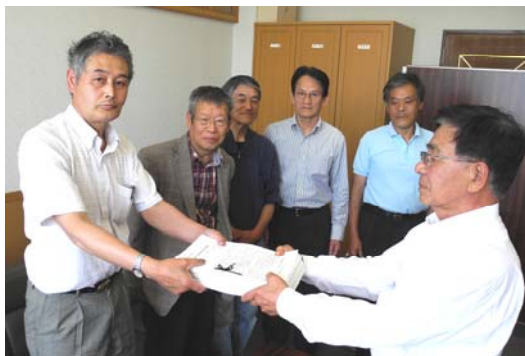
○は賛成、●は反対 △は会派で賛否がわかる

議案提案権生かして積極的に意見書提案

主な議案	提案	賛成討論	反対討論	日本共産党	清風クラブ	甲政クラブ	正政会	公明党
25年度一般会計補正予算	市長		討論なし	○	○	○	○	○
甲賀市景観条例の制定を求める条例	市長		討論なし	○	○	○	○	○
甲賀市の職員給与を引下げる臨時特例に関する条例	市長	辻重治	山岡・安井	●	○	●	●	○
「手話言語法」制定を求める請願	2557人	小西・山岡	中島茂	○	●	○	○	●
中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書	中西弥兵衛		討論なし	○	○	○	○	○
微小粒子状物質(PM2.5)に係る総合的な対策の推進を求める意見書	中西弥兵衛		討論なし	○	○	○	○	○
環太平洋連携協定(TPP)交渉参加表明の撤回を求める意見書	安井直明	小松正人	白坂万里子	○	△	○	△	●
憲法96条改定をやめ立憲主義を守ることを求める意見書	小松正人	小西・安井	加藤・中島	○	●	○	○	●
特別支援学校の設置基準の策定に関する意見書	山岡光広		討論なし	○	○	○	○	○
直下に活断層と断定された敦賀原発2号機の廃炉を求める意見書	山岡光広	小松正人	なし	○	●	○	○	●
「生活保護法改正法案」の撤回・廃案を求める意見書	小西喜代次	安井直明	谷永兼二	○	●	●	●	●
京丹後市・経ヶ岬への危険な米軍専用レーダー基地の設置計画の撤回を求める意見書	小西喜代次	山岡光広	なし	○	●	●	●	●

清風クラブ△で、賛成は橋本恒典、舩藤男、野田卓治、伴資男、辻重治、中西弥兵衛、中島茂、服部治男。正政会の△で、賛成は田中新人の各議員(敬称略)

6月議会では、議案提案権を生かして6件の意見書を提案。このうち「特別支援学校の設置基準等の策定に関する意見書」は全会一致、「環太平洋連携協定(TPP)交渉参加表明の撤回を求める意見書」は賛成多数で採択されました。2557筆の署名を添えて提出された「手話言語法制定を求める請願」(日本共産党らが紹介議員)は、清風クラブと公明党の会派が反対したため、不採択となりました。



議長に請願書を提出する請願人ら(5/24)

手話言語法制定を求める請願 否決

甲賀市聴覚障害者協会が中心となって2557筆の署名を添えて提出された「手話言語法」制定を求める請願は、多くの傍聴者のなか、清風クラブ・公明党の反対で否決。全国でも初めての取り組みとして、注目されていましたが、これほど切実で、正当な願いになぜ反対するのでしょうか。反対した議員 清風クラブ(橋本恒典、谷永兼二、的場計利、舩藤男、鶴飼勲、野田卓治、伴資男、辻重治、中西弥兵衛、岩田孝之、中島茂、橋本律子、服部治男)、公明党(加藤和孝、白坂万里子)。敬称略

日本共産党甲賀市議員団で政務調査活動

◆京丹後市



◆福崎町



甲賀市でも自治基本条例の取り組みがすすまっていますが、京丹後市や福崎町と違うのは、条例制定のプロセス。幅広い市民参加による検討、あくまで「市民が主役で市は支援」というのが貫かれています。ですから条例素案作りの委員はすべて公募。しかも無報酬。自律のまちづくりをすすめる福崎町(町長は日本共産党員)も基本は、住民こそ主人公です。

一貫して「市民が主役、市は支援」

日本共産党甲賀市議団として5月16日と17日の両日、京都府京丹後市と兵庫県福崎町へ、自治基本条例やまちづくりの問題で政務調査活動・視察研修に行ってきました。



甲賀・湖南議員団

新甲賀病院に改善申入れ

新甲賀病院が4月開院しましたが、入院・外来患者や利用者からさまざまな改善要望が出されています。6月6日、日本共産党甲賀・湖南の議員団が病院に改善を申し入れました。障害者用駐車場の段差解消、雨除け屋根の改善、診療棟各科の案内表示やトイレの場所がわかりにくい、障害者用トイレの開閉時間が短い、駐車場無料の単位を「1時間から2時間」にしてほしい、病室のスポットライトが明るい、など。

駐車場や診療棟・病棟…



今年も平和行進

第55回国民平和大行進が6月15日、甲賀市役所から湖南市西庁舎まで歩きました。

日本共産党
甲賀市議団ニュース
2013年 6月30日 NO. 131



安井 直明
土山町前野 541
Tel 67-0147
Fax 67-1660



小松 正人
水口町名坂 128
Tel 62-9652
Fax 76-0150



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨
Tel 83-0765
Fax 83-0765

6月議会一般質問

6月議会一般質問には、17名の議員がたちました。日本共産党の山岡光広、安井直明、小松正人、小西喜代次の各議員（届出・発言順）の質問と答弁要旨は次の通り。

山岡光広議員



◆小型家電リサイクル法、◆新甲賀病院とコミュニティバスの充実、◆ホームレス対策、◆要介護認定者と特別障害者控除、◆安全・安心の学校給食

問 小型家電リサイクル法が施行された。市に義務はないが責務がある。実施に向けて京都市などモデル事業の教訓を生かすべき。

市長 現在は約450社の小型家電が回収され埋立処分。リサイクルの必要は認識しており、他自治体の例なども参考に検討していきたい。

問 新甲賀病院が4月開院しコミバスの直行便などが運行されているがダイヤ・バス停など改善要望がある。

総合政策部長 利用者視点にたつてバス事業者と調整し、利用者増につながるよう改善をすすめていきたい。

問 高齢者優待フリー乗車券発行を。市長 具現化に熟度をすすめる。

問 ホームレスに関する相談で緊急一時的なシェルターや旅館・ホテルと契約して居住の確保をすべき。

健康福祉部長 実際に旅館の協力で一時的な宿泊施設にしたことがある。

再問 それを制度化することが大事。

問 要介護認定であれば、障害者手帳がなくても申請すれば「特別障害者」として所得税控除を受けることができる。実績と周知徹底を。

健康福祉部長 要介護認定2576人に対し、申請は38人。周知徹底する。

安井直明議員



◆生活保護は十分な説明と対応、◆再生自然エネルギーの積極的活用、◆老朽化した市営住宅の今後、◆鮎河保育園・小学校の対応、◆地域医療機関の今後

問 最後の砦、生活保護は、保護者に十分な説明と親切的対応を。

健康福祉部長 チラシに基づきそれぞれの説明している。

問 再生可能エネルギーの活用を。

市民環境部長 今年度、水口中に太陽光発電システム15KWと蓄電池を計画、小中学校に順次整備を進める。

問 市営住宅の改修の方向性を問う。

建設部長 計画に基づき入居者の現状も考慮し事業実施を図る。事業が具現化されたら、入居者に説明を行い、事業実施をする。

問 鮎河保育園の休園の今後と、鮎河小学校など小規模校の今後を問う。

教育部長 保育園は入園希望状況を把握し判断を、園施設を地域の高齢者サロンや異年齢の交流拠点としての意見交換等もした。小学校も施設の効果的・効率的な運営や、老朽化した施設への対応、今後の児童数の推移などを踏まえ、統廃合を含めた再編計画を行い、規模の適正化を図っていく。

問 山内など地域の医療機関の後は。

健康福祉部長 在宅医療・介護及び保健との連携が必要、関係機関が連携し、役割分担も含めネットワーク化に向けて取り組みが進められている。

小松正人議員



◆旧甲賀病院の跡地利用計画、◆市道街路樹の対策と歩道整備、◆市道パトロールは市道空間全体をみて対応、◆鳥獣被害防止特措法と市の具体的計画

問 旧甲賀病院の利用可能な病棟を保健・介護・福祉施設として活用してほしいと切実に願う市民の要望にどう応えるか。

市長 地域の意見や市民の声を聞き、本市の提案を病院組合に申し上げる。病院跡地の遺跡調査の結果では、利用変更も考えられる。

問 名坂・梅ヶ丘線の街路樹プラタナスは樹齢30年を超え、根っこが歩道を隆起させ、「歩きにくくこけそうになる」との苦情がある。歩道整備と街路樹の処理が緊急に必要だ。

建設部長 安全対策として歩道の補修及び街路樹と植樹樹の管理と対応を検討。

問 道路パトロール隊は、路面だけでなく複眼的に市道空間全体をみて安全整備の役割を。

建設部長 これまで行き届かなかった道路損傷部分の簡易補修、安全対策、補修工事を行う。

再問 水口・上真海3号線は、今すぐに改修・整備せよ。

建設部長 路面調査し優先して改修する。

問 鳥獣被害防止特措法の防止計画は。

産業経済部長 本年度は一層捕獲対策を。問 獣肉資源として処理施設が必要では。

産業経済部長 利用法と施設整備を支援する。

小西喜代次議員



◆市税納付困難対策、◆市職員の待遇改善、◆雲井・信楽間の直通コミバス運行・帝産バスの増便、◆自動車燃料費補助に障害3級復活、◆国道307号渋滞解

問 3月議会でも、生活保護ならびに同等程度の市税等滞納者は徴収停止すると答弁があったが、その後の徹底はどうか。

健康福祉部長 部長と所属長を通じ関係各課と連絡調整を行うようにしている。

問 国の公務員給与削減の認識は。

市長 今回限りの例外的、臨時的措置でやむをえないと判断している。

問 超過勤務解消の改善策はどうか。

総務部長 前年度と比べ全体で8390時間減った。時間外削減に向け職場毎の目標設定、職員間の平準化を図っている。

問 雲井・信楽間の直通コミバスの運行を。大津市は帝産バスに補助を出している路線があるが増便への補助を求めろ。

総務部長 直通コミバスは信楽高原鉄道の利用減になるため、帝産バスの補助は大津市と事情が違っているので考えていない。

問 平成22年度から除外された障害3級への自動車燃料補助の復活を求めろ。

健康福祉部長 公共交通機関の利用促進のため、復活は考えていない。

問 国道307号線信楽町の勅旨高原台入り口の渋滞の改善策を求めろ。

建設部長 交差点の右だまりの設置計画があるが、用地確保に時間を要し、すぐの対応は難しいと聞いている。